

令和3年第8回教育委員会議臨時会 会議録

1. 開催日時等 令和3年10月1日(金)
午前9時00分開会 午前11時06分閉会
2. 開催場所 ニセコ町役場 多目的ホール
3. 出席委員等 教 育 長 片 岡 辰 三
1 番 委 員 下 田 伸 一
2 番 委 員 越 湖 明 美
3 番 委 員 大 橋 理 絵
4 番 委 員 卷 礼 子
4. 欠席委員 なし
5. 事務局出席者 学校教育課長 前 原 功 治
町民学習課長 芳 賀 善 範
こども未来課長兼幼児センター長 淵 野 伸 隆
学校給食センター長 富 永 匡
学校教育課学校教育係長 馬 渕 由 香
6. 会議録署名委員 1 番 委 員 下 田 伸 一
7. 議 件
会議録署名委員の指名について
教育長の報告
報告第1号 ニセコ町教育委員会委員の任命について
議案第1号 議席の決定について
報告第2号 ニセコ町会計年度任用職員の任用について
報告第3号 令和3年度(2021年度)ニセコ町教育費予算の補正について
報告第4号 ニセコ町議会総務常任委員会所管事務調査による善処要望
について
報告第5号 ニセコ町通学路安全推進会議設置要綱の制定について
報告第6号 ニセコ町通学路交通安全プログラムの制定について
議案第2号 ニセコ町学習交流センター管理運営に関する規則の一部改正
について
協議案第1号 令和3年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」
へのニセコ町結果の掲載について

8. 議事の概要

教育長: 定刻となりましたので、ただ今から第8回教育委員会議臨時会を開催いたします。
本日の議事日程は、予めお配りした議事日程表のとおりです。
「日程第1 会議録署名委員の指名」を行います。
会議規則第12条第5項の規定により、「下田委員」を指名いたします。

教育長: 「日程第2 報告第1号 ニセコ町教育委員会委員の任命について」を議題とします。説明をお願いします。

・・・学校教育課長から説明・・・

教育長: 「報告第1号」の説明が終わりました。
それでは、質疑を行います。
質疑はありませんか。

・・・(質疑なしの声)・・・

教育長: 以上で報告済みといたします。
それでは、巻委員に一言ご挨拶いただきたいと思います。

・・・巻委員から挨拶・・・

教育長: 「日程第3 議案第1号 議席の決定について」を議題といたします。説明をお願いします。

・・・学校教育課長から説明・・・

教育長: 本議案につきましては、教育長による指定といたしたいと思いますが、異議ございませんか。

・・・異議なしの声・・・

教育長: 異議がないようですので、
1番を 職務代理者の下田委員、2番を 越湖委員、3番を 大橋委員、
4番を 巻委員、最後を 私 といたしたいと思いますが、異議ございませんか。

・・・(異議なしの声)・・・

教育長: 異議なしと認め、「議案第1号」は、原案のとおり決しました。

教育長: 「日程第4 教育長の報告」について、私から説明させていただきます。

・・・教育長から教育長の報告について説明・・・

教育長: 「教育長の説明」が終わりました。
それでは、質疑を行ないます。質疑はありませんか。

大橋委員: あそぶっくらぶの、魔法のじゅうたんの英語日本語読み聞かせというのは凄く良いことだと思いましたが、どのように行っているものですか。

越湖委員: 国際交流員に来てもらって一冊読む他に、ボランティアさんや職員の方が読むということで、1時間の中の15分間を使って月に一回実施をしています。

教育長: 小学校でも、国際交流員も入って多言語での読み聞かせを行っていて、私も興味があって面白いと思っています。ニセコらしい取組だと思っていますので、是非そのような機会を多くしていただけたらと思います。

町民学習課長: あそぶっくで独自に教育と交流を深めている中で、ニセコ町にもいろいろ

な方がいらっしゃると思いますので、その繋がりの中でやっていただいております。

教育長：他に質疑はありませんか。

・・・質疑なしの声・・・

教育長：以上で報告済みといたします。

教育長：「日程第5 報告第2号 ニセコ町会計年度任用職員の任用について」を議題といたします。説明をお願いします。

・・・学校教育課長が議案を読み上げ、内容説明・・・

教育長：「報告第2号」の説明が終わりました。

それでは、質疑を行ないます。質疑はありませんか。

・・・質疑なしの声・・・

教育長：以上で報告済みといたします。

教育長：「日程第6 報告第3号 令和3年度ニセコ町教育費予算の補正について」を議題といたします。説明をお願いします。

・・・学校教育課長が議案を読み上げ、各課長等が内容説明・・・

教育長：「報告第3号」の説明が終わりました。

それでは、質疑を行ないます。質疑はありませんか。

下田委員：めん羊舎が保険で修繕できるということですが、その後の活用の検討はどのような状況ですか。

町民学習課長：今年については補修をして、来年度以降の活用について有島記念館として考えているのは、郷土資料展示のようなものにならないだろうかという腹案は持っています。地区としてあまりあの建物を大きく変更しない方が良いという希望もあると聞いていますので、各方面と協議をしながら進めたいと思っています。

教育長：他に質疑はありませんか。

・・・質疑なしの声・・・

教育長：以上で報告済みといたします。

教育長：「日程第7 報告第4号 ニセコ町議会総務常任委員会所管事務調査による善処要望について」を議題といたします。

説明をお願いします。

・・・学校教育課長が議案を読み上げ、内容説明・・・

教育長：「報告第4号」の説明が終わりました。

それでは、質疑を行ないます。質疑はありませんか。

・・・質疑なしの声・・・

教育長：以上で報告済みといたします。

教育長：「日程第8 報告第5号 ニセコ町通学路安全推進会議設置要綱の制定について」を議題といたします。説明をお願いします。

・・・学校教育課長が議案を読み上げ、内容説明・・・

教育長：「報告第5号」の説明が終わりました。

それでは、質疑を行ないます。質疑はありませんか。

・・・質疑なしの声・・・

教育長：以上で報告済みといたします。

教育長：「日程第9 報告第6号 ニセコ町通学路交通安全プログラムの制定について」を議題といたします。説明をお願いします。

・・・学校教育課長が議案を読み上げ、内容説明・・・

教育長：「報告第6号」の説明が終わりました。

それでは、質疑を行ないます。質疑はありませんか。

巻委員：信号機の件ですが、旧宮田小学校のところにある信号機は事故があった時についてたものですが、それを撤去して近藤小学校にということにはならないのかと、事情を知らないので勝手に思っていました。近藤小学校前のどこに設置するのかの判断も、運転者にとってはそこで突然信号機が赤になった時のことを考えると、信号機の設置場所も難しいと思っていました。ニセコ小学校は、私が勤務をしていた頃は、停車場線は車が多いので、団地の中を通るということで通学路を決めていましたが、今でもまだありますか。

学校教育課長：基本的に渡るところは指定されていますが、町民センターに行く用事が多かったり、夜は総合体育館に行くこともあるので、どうしても横断機会が多くなって、学校側の方から下りてくるという状況にあります。信号機のお話がありましたが、我々もそこは悩ましく思っているところで、警察とも打ち合わせをしている中では、既に設置している信号を外すということに関して、その地域の人がわかりましたという地域は基本的にはないので、それをもし外してくれるのであれば移すことも可能ということでお話しもいただいています。今後、町の方とも相談をしながら、どういうことができるのか検討させていただきたいと思います。

教育長：他に質疑はありませんか。

・・・質疑なしの声・・・

教育長：以上で報告済みといたします

教育長：「日程第10 議案第2号 ニセコ町学習交流センター管理運営に関する規則の一部改正について」の件を議題といたします。

事務局から提案理由の説明をお願いします。

・・・町民学習課長が議案を読み上げ、内容説明・・・

教育長：「議案第2号」の提案理由の説明が終わりました。

それでは、質疑を行ないます。質疑はありませんか。

・・・質疑なしの声・・・

教育長：以上で質疑を打ち切ります。

「日程第10 議案第2号 ニセコ町学習交流センター管理運営に関する規則の一部改正について」は、提案のとおりとすることに異議ございませんか。

・・・(異議なしの声)・・・

教育長：異議なしと認め、「議案第2号」は、原案のとおり決しました。

教育長：「日程第11 協議案第1号 令和3年度全国学力・学習状況調査『北海道版結果

報告書』へのニセコ町結果の掲載について」を議題といたします。

事務局から提案理由の説明をお願いします。

・・・学校教育課長が議案を読み上げ、内容説明・・・

教育長：「協議案第1号」の提案理由の説明が終わりました。

それでは、質疑を行います。

質疑はありませんか。

・・・(質疑なしの声)・・・

教育長：以上で質疑を打ち切ります。

「日程第11 協議案第1号 令和3年度全国学力・学習状況調査『北海道版結果報告書』へのニセコ町結果の掲載について」は、これに同意することとして決定することに異議ございませんか。

・・・(異議なしの声)・・・

教育長：異議なしと認め、「協議案第1号」は、同意することとして決しました。

休憩 午前10時05分

開会 午前10時08分

教育長：「日程第12 その他、説明・協議事項」についてです。

何かございますか。

・・・学校教育課長からニセコ高校の振興について、ニセコ町における通級指導教室の対応について資料により説明・・・

○ニセコ高校の振興について

下田委員：私もいろいろな場面でニセコ高校の振興については、町民の有志の方ともお話をさせていただいていますが、結局外野がいくら騒いでもという感じがあります。校長先生が2～3年で異動するので、その時その時のカラーというか、例えば観光に理解のある校長先生がいたり、それ程力を入れない先生がいたりというのは現実問題としてあるのかと思います。進め方の難しさがあると思っています。

教育長：私もこれまで高校現場にいた経験からも、外からいろいろ言っても変わっても、校長先生や教頭先生が変わるといつの間にか元に戻っていたということもありますので、やはり学校内部の先生達が変わっていくようなことをどのようにしてやっていくのが、一番大事なのかと思います。

巻委員：校長先生や教頭先生の考え方によって左右されることはあると思います。生徒を出す側としては、選択肢があるというところに大きな価値があると思っています。絶対数が減っている中で、どう生徒数を確保し学校を維持できるかということが一番大変なところだと思います。町外からこの高校を選んで来る子たちも、目的をもってやって来る子たちが結構いると思います。中学までの義務教育から選択できる学校が近くにあるということは大きいと思います。その中で、子どもたちを見ていると、農業よりも観光やアウトドアだったり、今までと違う友達関係を求めるというところが見えるので、そういう意味ではニセコ高校のある意味は大きいと思います。システムの、道から一時期町立学校の先生になって、任期が終われば道に戻っていくという形をせざるを得ないので、校長先生の考え方がどうあるべきかとい

うことをわかってもらって、あまり変更しないような動きができないのかということを考えていただければと思います。

教育長：やはり校長先生の考えが大事で、何か取り組みをしても2年で異動になるので、制度的なこともあわせて考えなければと思います。私も先程の教育長の報告の中にもありましたが、本庁の人事関係の方に相談をしながら進めています。どうしてもニセコ高校の場合は、一間口の小規模校なので、新採用の校長が来ることが多いです。初めての校長ということで、何をどうするかという経験値が少なく、様子を見ているうちに半年が過ぎそこから次へととなっても転勤してしまうので、そのところを長期的に校長としてやっていただくとか、経験値のある校長先生に来ていただくとかの取り組みをしないといけないと思っています。

越湖委員：以前、長野へ研修に行かせていただいた時に、役場の中に高校を担当する課が設置されていきました。それがあることによって、高校の校長先生や教頭先生は2年ごとにも変わっても、職員が同じ目的をもって、高校だけではなく町の高校としてタイアップしながら進めると一本の柱ができると思うので、そのような体制を作っていくことも一つかと思います。

教育長：教育委員会とは別に町の役場の中に課があるということですか。

越湖委員：白馬村はスキーで名も知られていて海外の方も来られるということで、似たような環境の町だと思います。詳細はわかりませんが、課があるので担当者がすぐに変わるというよりは、町の方針としているので良いと思います。ニセコ高校はニセコというブランドの町にある高校という意味では、インターナショナルスクールもあって、海外の方もニセコだけではなくて倶知安町でも増えている現状をあって、グローバル観光コースを新しく設置したところも前面に出していくと、将来仕事につけるといったイメージにもつながっていくのではないかと思います。

教育長：令和4年度から高校が新学習指導要領に沿って変わるので、教育委員会も一緒になって新しいカリキュラムを作っています。いろいろな町民の方と話している中では、農業と観光の二本立てで二つのコースを持っていますが、農業高校ということで農業の校長先生や教頭先生が来て、どうしても農業が重視されて観光の方が前面に出ていないのではないかと思います。実際に観光で来ている子たちも活躍している実態もありますので、そういうことであれば学校としても、もう少し観光に力を入れて前面に出すということができれば良いですが、そこがなかなか変わっていかないというのが町と地域のみなさんの思いかと感じています。では、どうしたら具体的に学校が町民の意向も受け取れて進んでいけるのかということで、実はいろんな関係の有志の方に集まっていたいただいて具体的な話をしています。先行事例の中でも、町立だったり県立だったり、県をあげて応援する学校だったり町だけでやるという部分であったりいろいろな状況があるので、それらも含めて、できればコロナが明けたら委員のみなさんに視察をしていただくと、実際に検証していけると良いと思います。そう簡単には結論が出ないと思いますので、検討する組織を公的に設置するという事について、委員の皆さんのご意見はいかがですか。

下田委員：是非お願いします。あとはスケジュール感だったり、メンバーだったりということになるかと思います。資料の中の「考えられるプラン」にもありますが、高校に事務長のような方を設置できれば、内部に入って文化を作っていけるのではないかと思います。相当な覚悟が必要かと思いますが。

教育長：職名を変えるだけであれば、今の町の係長を事務長ということで管理職にということもありますが、学校教育の中では、事務長は校長の指揮の元に行動することとなっていますので、最終的には校長が全責任をもって行うということになります。極端に言うと、校長が変わらない限りは変わらないので、協議会という場を作って検討します。実際にそれを行動に移す校長がそれを受け止めて具体的にできる体制にもっていかなければいけないと思います。結局、田中先生も学校の校長として名前を変えて先生方もそれを実行していく、校長先生だけが旗を振っても先生方がついてこなければ実態としては動かないこととなります。そこが学校の難しさと言いますか、変えるのには時間がかかると思います。校長ひとりではできないので、先生方と一緒にやっていかなければいけないことなので、管理職や先生方の人事も含め、ニセコ高校に行きたいという先生を増やせるのが一番良いと思いますので、どのように進めていくかということ。一気に変えたいとしてもなかなか変わらないので、そこをどのように高校として取り組んでもらえるのかということでは、やはり校長先生が大事だと思いますので、校長先生の任用期間等も含めて取り組んでいくことが大事だと思います。民間人の校長先生を導入している学校もあります。過去に道立学校では、6人くらい民間校長を入れましたが、今はやっていません。今やっていないということは、当初いろいろなことで調整して活性化ということに取り組みましたが、教員体質がなかなか変わらなかったということもあるようです。ニセコ高校の論議の時に、ニセコ高校の必要性等も含めて検討できればと思います。組織の考え方や設置につきましては委員のみなさんからご理解いただけたと思いますので、具体的にどのような組織にするのか、今後のスケジュールも含めて、みなさんにご意見をいただきながら進めていきたいと思っています。特に教育委員会主導か町長部局が主導かという件についてはいかがですか。

下田委員：町長部局となると具体的にはどうなりますか。

教育長：考え方としては、町長部局に検討協議会の設置も含めてやってもらうということか、教育委員会の中でメンバーを決めて教育委員会が主導で行う中に、町長部局の関係者に入ってもらうということです。

下田委員：後者の方が良いと思います。

教育長：教育委員会主導を基本として、そこに町長部局の関係者が入ってもらうというような組織の考え方でよろしいですか。

下田委員：町長部局は企画ですか。

教育長：具体的にどこになるかは町長部局とも話したいと思います。高校だけに限定するのか、ニセコ町の教育という幅広い部分での協議になるのかという考え方もありますが、今はニセコ高校の寮のことや生徒募集のこともあるので、高校の存続ということでこれまでもいろいろご検討いただいているところです。それでは、検討委員会のような組織をつくることは了解いただいて、教育委員会主導で進めるということでもよろしいですか。

・・・(異議なしの声)・・・

教育長：今後また町長部局とも話しながらたたき台を作って、それを委員会で協議いただいて決めていきたいと思っています。設置そのものも委員のみなさんと話し合ったうえで決めていきたいと思っています。タイムスケジュール的には時間がかかるかもしれませんが、その間情報収集や意見交換はしていきたいと思っています。

○ニセコ町における通級指導教室の対応について

下田委員：現在は12名ですが、それ以上のニーズがあると思われるということなので、本教室を改修して自校化で良いと思います。

巻委員：蘭越小学校で通級教室を設置した時の校長として準備に携わりましたが、まずは人数の洗い出しをしました。そして本当は通いたいけれど親御さんの送迎が必要とか、倶知安小学校にもたくさん児童がいたので夕方の時間が遅くなるので、逆に午前中の早い時間で授業を抜けていかなければいけない等の問題があって、やはり自校にあった方が、子どもたちの学びの保障ができるということで、2年くらいかけて設置しました。今は蘭越小学校が基盤校で、黒松内小学校が独自になったので、巡回で昆布小学校と蘭越小学校を行ったり来たりしています。ニセコ小学校にできると、近藤小学校の子どもたちも、倶知安小学校に行かなくても良いので、それぞれの学校の中でできるということになります。一週間に一回、自分の学年の授業を抜けて、ことばの教室に行くことにはなりますが、通級はことばだけではなく学び方と言いますか、言葉がわからないためにどう学んで良いかわからなかったり、人間関係が築けない子もいるので、ことばと学びの教室という名前にして今はやっています。是非ニセコ町でもできると良いと思います。

越湖委員：今は12名ということですが、自校でことばの教室を開設しますと言えば、希望者が増えるのではないかと思います。パソコン教室は学校内で移動しやすいので使えるにこしたことはありませんが、もし使えないのであればニセコ小学校エリアにある教員住宅とか、基本的にはすぐ移動できて通える場所が確保できるのであれば、設置の必要があると思います。

教育長：自校化は是非進めるべきだというご意見かと思えます。維持するための対象が13名以上ということですが、実際には潜在的な児童もいるかもしれないので増えることも予想されます。まずは状況を把握したうえで、教室の改修となると予算もかかりますので、精査して予算要望もあげていかなければいけません。この方向で進めていきたいと思っています。

教育長：この際ですので、各委員から何かございませんか。

・・・(なしの声)・・・

巻委員：以前に話題になっていた、ニセコ小学校に登校していない児童の件ですが、9月の末に以前通っていた小学校に戻って普通どおり学校に通っているということです。

教育長：その他連絡事項等ございませんか。

・・・(学校教育課長等から今後の日程の説明)・・・

教育長：ないようですので、以上で、第8回教育委員会議臨時会を終了いたします。ご苦労様でした。

午前11時06分 閉会